

5. 代表的な事例と整備効果

重点戦略Ⅰ：競争力のある地域経済社会の再構築

重点目標1：交通ネットワークの強化

①企業立地促進などの産業競争力強化に向けた高速交通ネットワークの整備

中国横断自動車道 姫路鳥取線（鳥取県）

- 鳥取県東部地域は、高速道路整備が立ち遅れており、輸送・移動コスト等が他地域に比べ高く、経済や産業など様々な場面において不利な状況にあり、地域経済が低迷。
- しかし、近年では、姫路鳥取線の整備を見越した企業進出が活発化しており、地域経済の発展や新たな雇用の創出を支援。



沿線地域への企業進出が活発化

【鳥取県東部の企業進出状況(累積)】

※H14年度からの積み上げ



※H19年度はH20.1末までの件数

単独進出企業: 誘致企業以外の新規企業進出及び工場増設を行った企業数

誘致企業: 行政が誘致した企業数

資料/鳥取県商工労働部、鳥取市産業振興課の提供資料により鳥取河川国道事務所まとめ



高規格幹線道路 山陰道 出雲～仁摩間（島根県）

- ・下関港へのアクセス道路として利用される一般国道9号は、線形不良箇所や、高さ制限箇所区間があり国際標準コンテナの通行に支障のあるトンネルが6ヶ所存在するなど、物流に多大な影響。
- ・山陰道の整備により、物流の効率化が図られ、産業活動の国際競争力が向上。

線形不良区間が多く事故が多発



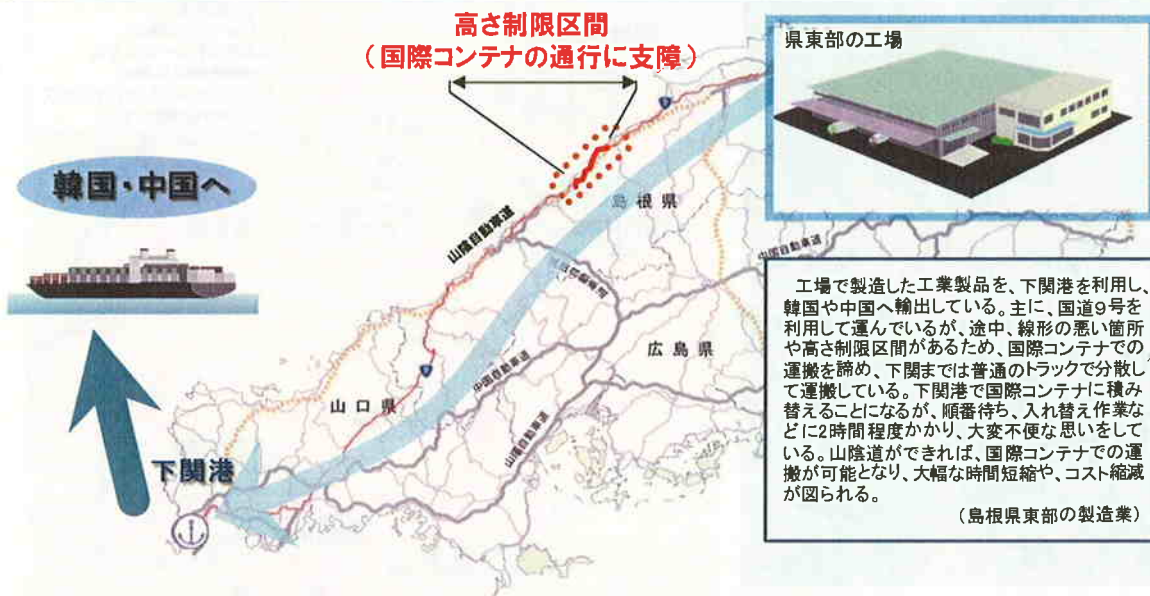
事故による通行止め

度重なる災害で寸断され、大幅な迂回



H18.7豪雨災害での法面崩壊（多伎町）

国際コンテナ通行支障トンネル（6箇所）の存在



現況

積み替え作業に1～2時間のロス・作業費が発生！

現在は、国際コンテナの通行に支障があるため、コンテナに入れずに一旦複数のトラックで下関港まで運んだ後に、コンテナに積替えて輸出。
国際コンテナへの積替えで時間ロスや作業費が発生！



<複数のトラックに分けて運搬>

将来：山陰道整備

将来は、直接、工場から国際コンテナに積み込み、山陰道を利用して下関港まで行き、そのまま積み替え無しで輸出したい。



<国際コンテナで直接運搬>

②空港・港湾等の物流拠点と高速交通ネットワークとのアクセス強化

地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路（山口県）

- ・地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路は、県都であり交通の要所小郡を抱える山口市と、産業集積都市宇部市・山陽小野田市を連絡する極めて重要性の高い道路。
- ・山口宇部小野田連絡道路は、広域交通拠点である山口宇部空港や新山口駅、高速道路、重要港湾宇部港へのアクセス強化を図り、陸・海・空の総合的なネットワークの形成に大きく貢献し、広域交流や地域連携を支援。

利便性向上により、企業進出や観光客増加など、地域が活性化



広域交通拠点である空港や新幹線駅へのアクセス性が向上

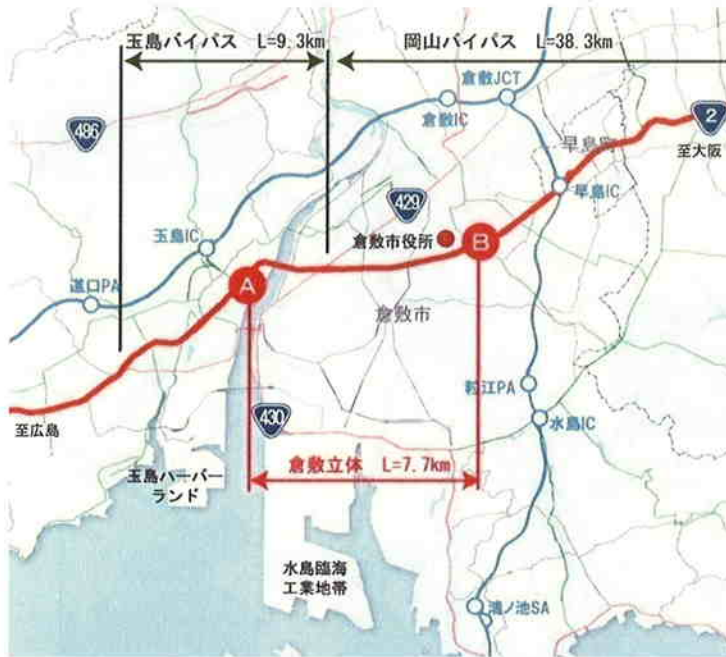


重点目標2: 都市内交通の円滑化

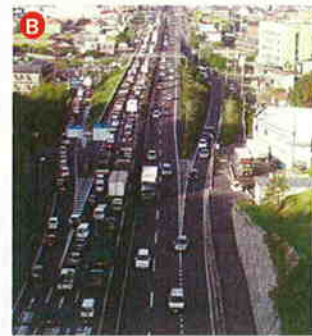
①産業の競争力強化に向けた、“人”や“物”の移動の円滑化

国道2号 倉敷立体（岡山県）

- ・国道2号岡山バイパス・玉島バイパスの整備等による臨海部の企業進出に伴い、倉敷市中心部の国道2号においては、著しい交通渋滞が発生しており、企業活動や住民生活に多大な影響を及ぼしている。
- ・倉敷立体（倉敷市新田～船穂町）の整備により、国道2号の渋滞緩和を図り、円滑な交通の確保が急務。



【国道2号の著しい交通渋滞】



玉島ハーバーアイランド



水島臨海工業地帯

道路利用者の声

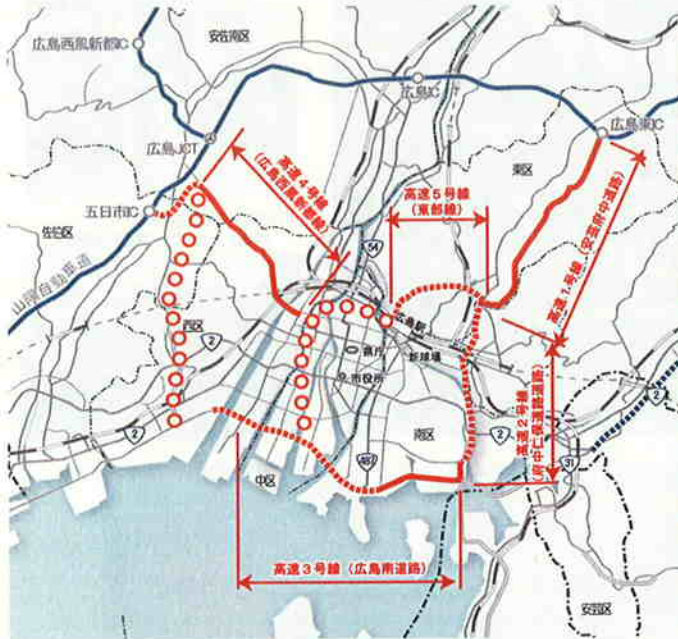
高梁川大橋付近は、側道から本線へ合流する車が多いため渋滞することが多く、倉敷中心部から玉島ICまで**40分以上もかかる**ことがあります。

(岡 荘一郎：倉敷商工会議所副会頭，くらしきTMO会長)

②都市の骨格形成及び機能の向上

広島高速道路（広島県）

- ・広島都市内幹線道路における慢性的な交通渋滞を解消し、都市内環道交通の円滑化を図るとともに、高速道路ICや広島空港へのアクセスが飛躍的に向上する。
- ・また、広島駅周辺では「二葉の里地区」再開発計画や新球場の建設などの開発が進み、更なる拠点機能の向上が図られており、それらの開発計画等の支援にも繋がる。



広島高速3号線(宇品付近)

広島高速道路の整備により、都市内の拠点間の所要時間が大幅に短縮します！



広島市内では、再開発計画や新球場の完成により拠点機能が向上



二葉の里地区再開発計画
(写真は現況)

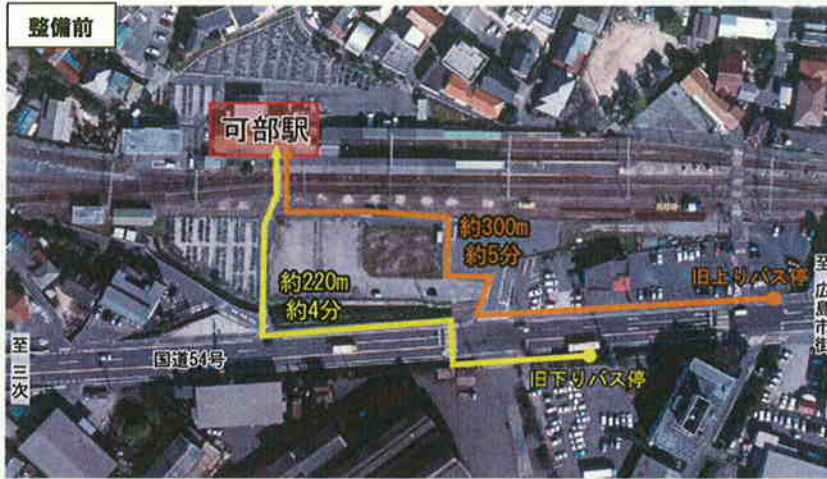


新球場
(マツダスタジアム)

③都市内移動の快適性・利便性の向上

可部駅西口駅前交通結節点改善事業(広島県)

- ・JR可部駅は、平成15年に可部駅以北が廃線となり、バスの乗り換え需要が高まる中、西口の駅前広場が未整備で、バス停留所は平均260mと離れるなど、鉄道との乗継が不便な状況となっている。
- ・そのため、駅前の通りである国道54号と駅前広場の一体的整備を行い、公共交通の結節機能の改善を図るとともに、国道54号の円滑化を図ることで都市機能の充実と地域の活性化が期待される。



【駅とバス停が離れており乗継距離が長く、国道を横断する必要も】



【バス停車場が狭く、停車したバスが交通の妨げに】



◆交通結節機能の改善◆

- ・鉄道とバス等の乗継距離が短縮し、利便性・安全性が向上
- ・上屋とベンチが設置されたバス停で快適性が向上

◆交通の円滑化◆

- ・バス停を駅前広場に設置することで、国道54号の交通がスムーズかつ安全に
- ・国道54号に新たに右折レーンを設置し、駅前広場への乗り入れも安心

◆電線類の地中化◆

- ・駅前広場、バス停整備に合わせ電線類を地中化し、地震や台風などの災害に強い交通結節点となり、景観も向上

【整備された可部駅西口の全景】



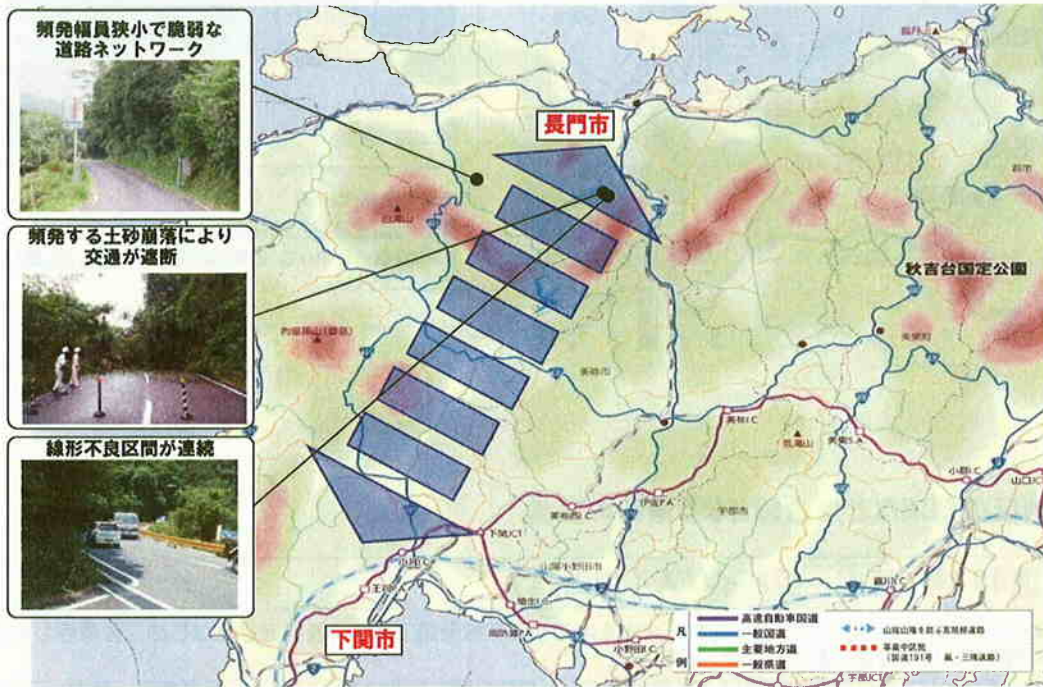
重点戦略Ⅱ：安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

重点目標1：災害の防止・軽減

①信頼性の高い交通機能・空間機能の確保

高規格幹線道路 山陰道 長門依山道路（山口県）

- ・長門市依山地区は幹線道路のすべてに異常気象時通行規制区間が存在し、災害発生時には孤立状態となる危険性が高い。
- ・また、長門～下関間は線形不良箇所も多く、物流・観光においても大きな影響を及ぼしている。
- ・山陰道の整備により、孤立地区の解消、産業・観光など地域活力の向上等が期待される。



孤立地区の解消・医療体制の支援により安心・安全の確保



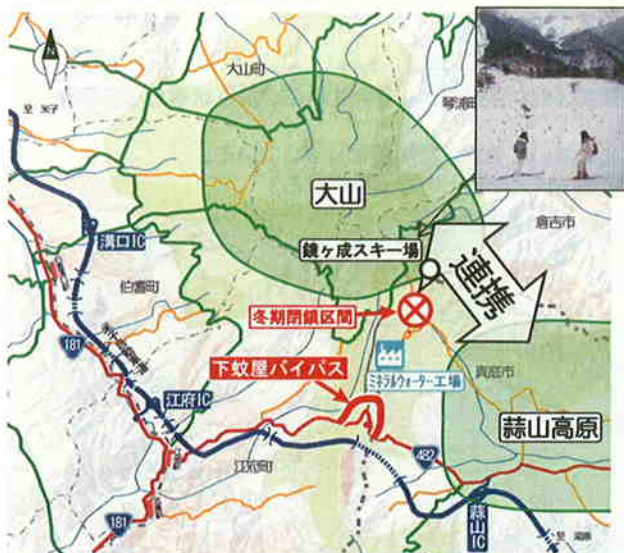
九州方面からの観光・レジャー客も獲得し、地域の活性化



②冬期の安定した道路交通の確保

国道482号下蚊屋バイパス（鳥取県）

- ・国道482号は地域の生活、産業、観光を支える重要な路線であり、新規進出企業の輸送ルートにも利用されているが、幅員狭小や線形不良、急勾配区間などが存在する上、冬期の積雪が厳しく安定した交通が確保されていない。
- ・下蚊屋バイパスの整備により、冬期の安全で円滑な交通を確保し、地域産業や住民生活の支援が急務である。



冬期の積雪により、安全な交通が確保されていない



県民の意見・ニーズ

産業のためのインフラ整備は良いと思う。
インフラ整備をやって、企業誘致を行い、就職先を確保することが大切。

(お出かけ意見交換会)

③孤立地区の解消など生命線となる道路の整備

国道434号 徳山～錦バイパス（山口県）

- ・国道434号は、山口県周南市～広島県三次市を連絡する幹線道路であり、通勤通学をはじめ、医療等の救急活動、防災活動等、様々な面において重要な役割を担っている。
- ・徳山～錦バイパス事業区間の現道は、異常気象時通行規制区間に指定されている上、幅員狭小、急カーブ区間、防災点検における要対策箇所が複数存在するため、災害などいざという時にも安心できる生活環境の構築が必要である。



災害に脆弱な国道434号の現道状況

異常気象時通行規制区間 : 6.9km
要防災対策箇所 : 22箇所
建設後50年の老朽化橋梁 : 6橋



ひとたび災害等により通行止めとなれば、多大な迂回が発生



■通常の移動時間
国道434号～国道315号
53分(36km)

■通行止め時の移動時間(迂回路)
国道187号～国道2号
104分(71km)

■実際に51分の時間ロスが発生

④災害時におけるライフラインの確保

国道2号観音電線共同溝（広島県）

- ・歩道内に乱立する電柱や電線類は、都市景観を損なうだけでなく、災害時には電柱倒壊等の都市災害の被害が拡大する危険が思慮される。
- ・電柱、電線の地中化により倒壊の恐れがなくなり、災害時においても重要な電力・通信ケーブルなどのライフラインが寸断される恐れを軽減し、信頼性向上が期待される。

整備前



整備後



重点目標2:交通安全の向上

①地域と連携した交通事故対策の推進

国道29号 八頭町付近交通安全対策（鳥取県）

- ・鳥取県八頭町郡家の国道29号沿線は、商業施設が多数立地しており、沿道出入が多く、追突事故が多発。
- ・効果的な対策を講じるため、住民や警察等と合同の意見交換会を開催し、対策案について検討。
- ・その結果、死傷事故件数は激減し、地域住民の満足度も向上。

地元住民・警察等と合同で意見交換会を実施し、対策案を検討

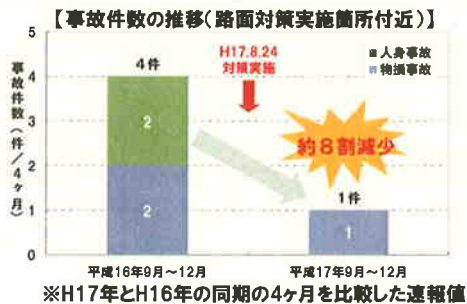


- 意見①:「看板は沢山あるので路面表示の色などを工夫した方が良い」
 意見②:「既存の道路の情報板を活用してはどうか」
 意見③:「看板と路面表示の2つで注意を促した方が更に効果があるのでは」
 など

迅速に対応でき、効果的な対策を実施



死傷事故が減少し、安全性が向上するとともに、満足度も向上



- ★住民との連携により、効果的な対策を実施
- ★低コストで地域住民の満足度も高い!
- ★短期間で対策でき、事故件数も激減!

②歩行者や自転車利用者のための安全・安心な道路空間の確保

国道53号交通安全対策（岡山県）

- ・国道53号岡山市いずみ町津島周辺は、自転車交通量が非常に多く、歩行者と自転車が接触する等の危険性が高い。
- ・そのため、清心町交差点～岡山大学入口交差点間において、自転車道の整備や電線類の地中化、サイン設置を実施。



整備前

自転車道が無く、歩行者と自転車が交錯する危険性が高い



自転車歩行者道 植樹帯 車道



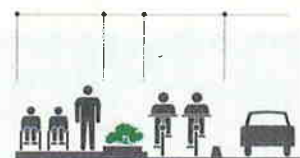
自転車交通量は
5,500台/12hと非常に多い

整備後

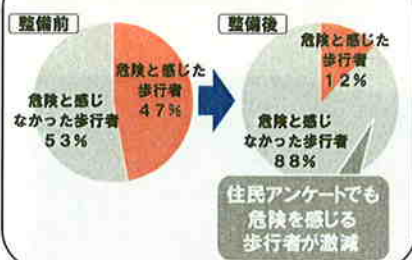
自転車走行空間の確保により、安全性が向上



歩道 植樹帯 自転車道 車道



住民アンケート調査結果においても・・・



③高齢者等が安心して利用できる工夫

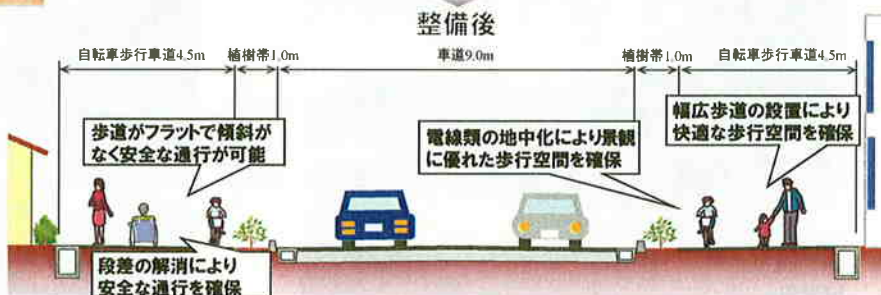
一般県道陶湯田線 交通安全事業(都市計画道路 泉町平川線)（山口県）

- ・主要な観光地である湯田温泉を通過し、山口大学へ通じる道路であり、通勤・通学などの日常生活をはじめ、観光交通にも利用されている重要な路線である。
- ・歩行者や自転車交通量が非常に多い場所にもかかわらず歩道は狭く、また、段差や急な勾配等が、障害者や高齢者の安全な通行の障害となっている。
- ・歩行空間のバリアフリー化整備により、高齢化社会の進展や障害者の社会参加の高まりに対応する。



高齢化社会の進展や
障害者の社会参加への高まり

歩行空間の
バリアフリー
ユニバーサルデザイン



④安心できる子育て環境の創出

国道9号 波子歩道橋（島根県）

- ・島根県江津市の国道9号では、通学路となっているにもかかわらず、歩道が狭隘・未整備であるため、児童が安全に登校できる状況ではなかった。また、地元住民からも安全確保のための要望が寄せられていた。
- ・側道橋の整備により、児童が安全に安心して登校することが可能となった。



歩道が狭く危険な通学路



歩道橋の整備により、安全な登校が可能に！

⑤踏切対策の実施

三谷踏切の歩道設置事業（山口県）

- ・（主）萩篠生線とJR山口線が交差する三谷踏切は、付近にJR三谷駅やバス停留所があり、朝夕には歩行者が多い生活幹線道路である。
- ・しかし、付近一帯には歩道が無く、歩行者と自動車が輻輳しており、特に三谷踏切では歩行者の退避所となる場所も無く、非常に危険な状態になっている。
- ・歩車道の分離など、迅速な踏切対策の実施により、歩行者自動車等の踏切通行時の安全性が向上し、周辺住民の安全で安心な生活に寄与する。

【待避所もなく危険な踏切】



整備前

【歩車道分離で幅員が十分ある歩道が設置され、安全な登下校が可能に】



整備後

重点戦略Ⅲ：多彩な文化と自然を活かした豊かで快適なくらし・社会の創造

重点目標1：良好な都市空間の形成

①沿道環境の保全に向けた取り組み

国道54号における低騒音舗装（広島県）

・日常的な騒音レベルが電話のベルや地下鉄電車内と同レベルの箇所が連続する国道54号において、騒音を吸収する低騒音舗装を施すことにより、騒音を低減を図り、沿道環境の改善・保全を実現。

広島都市圏の騒音の現状



国道54号における低騒音舗装の整備



●低騒音舗装への変更



通常舗装

通常舗装ではタイヤ溝と舗装面の間にはさまれた空気圧縮音、膨張音が発生(左図)。

低騒音舗装

低騒音舗装では空隙に空気が逃げ、音が路面内部に吸収されるため、タイヤと道路面との摩擦による騒音が低減されます。(右図)



《参考》生活騒音と騒音レベル

②賑わい創出を支援するための道路空間の整備や利活用

道路空間の利活用による賑わい空間の創出（島根県・岡山市・広島県）

・道路空間を魅力的に活用し、地域の特徴に応じたさまざまなイベント等が、各地で行われている。

■ 歩行者天国となり賑わうフラワーフェスティバル(広島市)



■ シンボルロードを利用した
パレードやフリーマーケット(出雲市)



■ 桃太郎大通りを利用したおかやま桃太郎まつり(岡山市)



■ 広島ライトアップ事業 ひろしまドリミネーション(広島市)



資料/島根県、岡山市、広島市 各HP

重点目標2:中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

①日常的な移動の利便性・安全性の向上

地域高規格道路 鍵掛峠道路（鳥取県・広島県）

- ・国道183号は三坂地区の住民にとって生命線となる重要な幹線道路であるが、幅員狭小や線形不良区間が連続する上、冬期の積雪が厳しく安定した交通の確保がされていない。
- ・地域高規格道路 鍵掛峠道路の整備により、冬期でも安全で安定した交通が確保され、住民生活の安全性が向上。



道路利用者のニーズ

『三坂地区には、消防署がなく、救急車両は西城町市街地からの出動となることから約2倍の時間を要する。また冬季においては、曲線部の幅員が狭小であり、最悪の場合、通行止めとなる場合もあり非常に憂慮すべき状況である。』
 (庄原市立西城市民病院事務長 談)

冬期の積雪により、安全な交通が確保されていない



鍵掛峠道路の整備により、冬期の所要時間が短縮



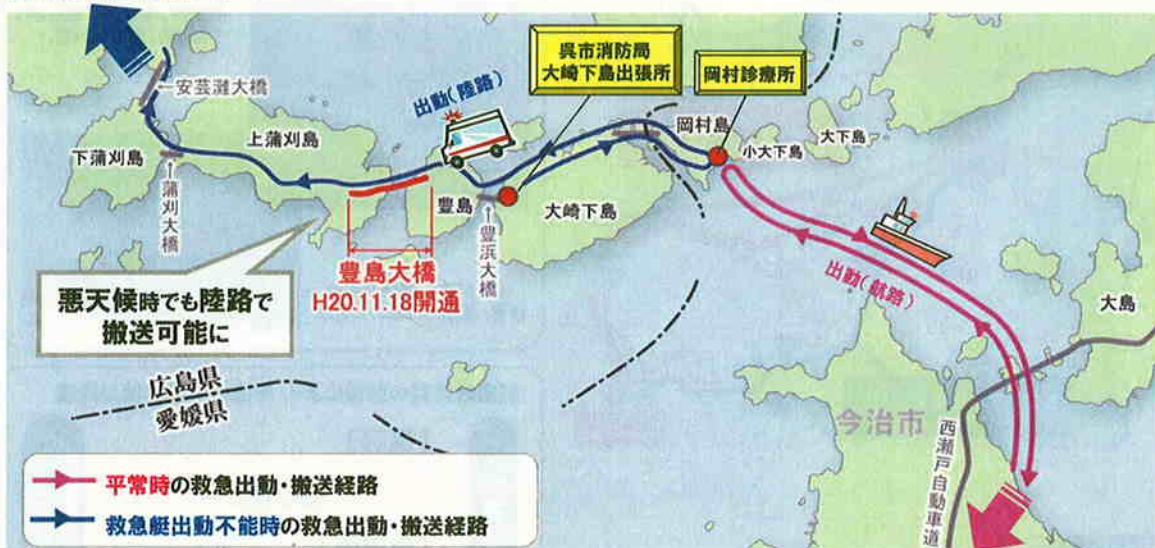
供用前：冬季の搬送実績時間
 供用後：新設区間 60km/h(設計速度) 実測値(10.20, 10.16)

②高次医療施設へのアクセス向上

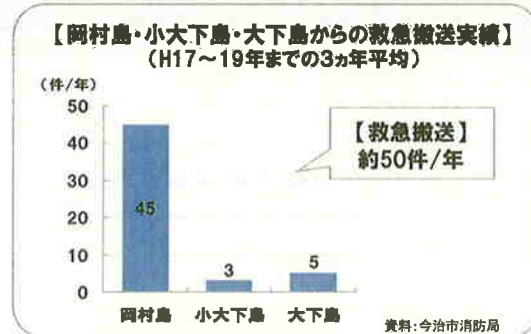
一般県道 豊浜蒲刈線 豊島大橋（広島県）

- ・豊島大橋の開通により、愛媛県今治市岡村島が陸路でつながり、緊急時には、県境を越えた救急搬送が可能になり、安全・安心が向上。
- ・年間約50件ある岡村島などからの救急搬送は、これまで救急艇で今治市内の病院へ搬送していた。今後は、悪天候時など、今治市からの救急艇が出動できないときは、岡村・小大下・大下の3島を呉市消防局が応援し、暮らしの安全・安心が向上。

呉市の医療施設へ



今治市の医療施設へ



③道の駅等を活用した生活拠点の確立

道の駅「クロスロードみつぎ」の整備(広島県)

- ・道の駅「クロスロードみつぎ」は、従来の休憩・情報発信施設としての「道の駅」の機能に加え、バスターミナルや図書館を併設するなど、地域の交流拠点としての機能を整備。
- ・特産品販売所と図書館、公園等の施設が集約されるとともに、町内の生活サービス拠点を巡回する公共交通や尾道や広島市内へ連絡するバスターミナルの整備により、地域の生活拠点となっている。

【クロスロードみつぎ 施設全体図】



尾道松江線の整備により 更なる活性化が期待

オープン以来、売上げも好調で、来年3月には来場者が100万人に達する見込み。

現在は福山、三原辺りからの来場者が主ですが、尾道松江線が開通すれば、人の動きがさらに広がり、おいしいものももっと集まると期待しています。

(道の駅 駅長)

物産販売により、地域の新たな産業・雇用が創出



路線バス・高速バスが 利用できる交通の結節点



図書館やATMなどの 生活機能も集約



重点戦略Ⅳ：交流・連携による一体的で活力ある地域づくり

重点目標1：都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

① “人”や“物”のブロック内循環を支援するための道路ネットワーク整備

中国横断自動車道 尾道松江線（島根県・広島県）

- ・ 広島市から松江市間の所要時間が約50分短縮されるなど、山陽・山陰間におけるビジネス、観光・レジャーなどの移動が便利になる。
- ・ 尾道松江線の整備により、山陽・山陰間の連携による観光振興や、都市と中山間地域の共生が期待される。



②都市の基礎的な生活機能の連携や交流を支援する生活幹線道路ネットワークの整備

一般国道375号 湯抱バイパス（島根県）

- ・美郷町から大田市へ向かう国道375号は、陰陽を連絡する幹線道路であり、美郷町からは、通勤・通学・救急医療・買物目的で大田市へ向かうための唯一の幹線道路である。
- ・離合困難な隘路や、危険な急カーブが連続し、冬季は積雪も多く交通の難所となっている。
- ・バイパスの開通により、住民の不安が解消されるだけでなく、美郷町から大田市までの所要時間が約10分短縮し、生活機能の向上を支援する。



道路利用者の声
 邑智出張所では、救急の約8割は大田市立病院へ搬送しています。その途中の国道375号は、道幅が狭くカーブも多いので、病院到着まで時間を要し、患者さんに対しても負担が大きいのが現状です。1秒でも早く病院に到着するよう1日でも早い道路整備を要望します。
 (川本消防署邑智出張所)

僕たちは、この国道375号を通るスクールバスで邑智小学校に通っています。早く、運転手さんが安心して走行できる道路にしてください。お願いします。
 (邑智小学校生徒)



重点目標2: 広域観光の促進

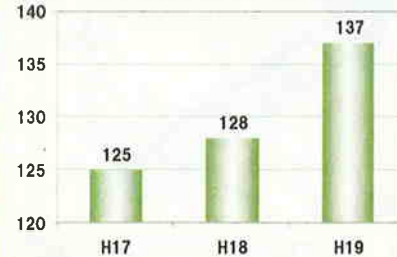
①観光地の周遊性を高める道路ネットワーク整備

一般県道柿木津和野停車場線 中座工区「中座バイパス」(島根県)

- ・津和野のメイン通り本町・祇園丁通りはH18年までに歩車共存、石畳舗装、電線類地中化、街路灯設置などの整備により、「歩く観光」が定着しつつあり、観光客も増加傾向にある。
- ・津和野らしい佇まいを守るため、中心地の南北に整備された2箇所の駐車場を利用し「パーク&ライド」を採用。
- ・生活者と観光客が共存する新しい交通体系の構築を図るため、駐車場へのアクセス道路の早急な整備が必要。



(万人) 津和野町における観光客数の推移



歩く観光で賑わう津和野町本町通り



パーク&ライド駐車場



循環バス&レンタサイクル

②地域の最新情報や魅力などの積極的な情報発信

道の駅「舞ロードIC千代田」での情報提供(広島県)

- ・道の駅「舞ロードIC千代田」では、JA広島北部の「ゆうあいネット」(DSLインターネット接続サービス)を利用し、無線LAN接続サービスを無料で利用できるフリースポットを整備。
- ・バスの待合室でもある休憩コーナーには、町内の観光スポットなどを映像やパネルで紹介。



道の駅「舞ロードIC千代田」



おしゃれな雰囲気のフリースポット



休憩コーナー



インターネットでさまざまな情報を検索!



フリースポット:
無線LAN接続サービスを無料で利用できるエリア
無線LANができるパソコンがあれば、インターネット
に接続することができる

規制情報

路面状況情報

気象情報

医療情報

他の道の駅情報

周辺観光情報

重点戦略Ⅴ：横断的な取組

重点目標1：社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

① 高齢化する道路ストックの計画的かつ戦略的な維持管理

既存道路の有効活用（広島県）

- ・ 広島県ではこれまで、約2,700橋の橋梁について定期点検を実施した結果、主要部材に損傷がある橋梁が75橋確認された。
- ・ 今後、更に、集中的な更新時期を迎えることとなるため、アセットマネジメントを導入し、計画的・効率的に予防保全を行うことで、トータルコストの縮減を図っていく。



②既存高速道路ネットワークの有効活用・機能強化

スマートインターチェンジの導入

- ・既存の高速自動車国道の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジ（ETC専用インターチェンジ）を導入している。
- ・中国地方においては、金城PA、大佐SA、吉備SA、加計BS、宮島SAの計5箇所を導入している。



加計BS



金城PA



大佐SA



利用者の声

- ・インターチェンジが近くなり便利である。
- ・周辺道路の渋滞を避けることができ、ありがたい。
- ・スマートインターチェンジができ便利がよかった。毎日通勤で利用し、仕事でもよく利用する。

(宮島スマートIC利用者)



宮島SA



吉備SA

●スマートインターチェンジとは？

スマートインターチェンジは、高速道路の本線やサービスエリア・パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるETC車専用のインターチェンジです。

③道路の維持管理分野の技術開発の推進

道路の維持管理の効率化、コスト縮減に資する技術開発

- ・道路施設の点検、診断、補修は、高度な知見や技術力を必要とするが、未だ人力と経験に多くを依存しており、維持管理の効率化、コスト縮減に資する技術開発を推進する。
- ・「小幅トンネル清掃車」「ITパト」「路面性状予測システム」「道路照明柱探傷装置」などの技術開発を行ってきた。今後も独自の研究開発や民間開発新技術の活用、大学との連携による共同研究・委託研究などにより現場のニーズにタイムリーに応えるための調査・研究開発を推進していく。

技術開発、研究事例(大学とも連携)

自浄能力を持つトンネル内装板の検討

光触媒を利用した汚れにくく、汚れの落ちやすい内装板の研究

道路付属物の簡易状態観測手法の検討

道路付属施設の腐食による倒壊を未然に防止する簡易な点検手法の研究

摩耗、除雪によって消えない区画線の検討

高強度繊維材料などの混入により除雪グレーダーによる摩耗の少ない区画線の研究

老朽化構造物の劣化調査及び構造物の劣化予測研究

撤去予定の橋梁を調査することにより、構造物の老朽化予測、合理的な維持・管理の基礎研究

・・・など



道路照明柱探傷装置の開発



小幅トンネル清掃車の開発

重点目標2:地球環境問題への対応

①CO2 排出量削減のための交通円滑化対策の推進

JR宇部線における踏切信号機の設置（山口県）

- ・大都市では環境対策として踏切の立体交差事業が実施されているが、比較的交通量の少ない地方都市では平面踏切が多く、立体交差化が進んでいない。
- ・踏切の一旦停止により、ノンストップ時の約3倍以上の燃料を消費。
- ・そのため、地方都市でも可能な「温室効果ガス削減」の取組みとして、踏切への信号設置を検討。





踏切写真(イメージ)
踏切への信号設置により...



踏切写真(イメージ)
踏切への信号設置により...

- 年間約2,000tのCO2排出量が削減
- 道路交通の円滑化

※環境共生都市を目指す宇部市は、他市に率先して取り組みたい事業

②公共交通機関の利便性向上等による自動車総量の抑制

福山都市圏「ベスト運動」(広島県)

- ・「ベスト運動」は、福山都市圏交通円滑化の主施策として、協賛企業、会員、委員会および(株)エフエムふくやまの4者が連携して、年間を通じた毎月のノーマイカーデーを実施する運動である。
- ・意識・行動変化を促す施策や、参加しやすい環境づくりのための施策などにより、都市圏全体にモビリティ・マネジメントの考え方を包括的に導入し、継続・定着に向けた取組みを実施中。

継続・定着に向けた取組みを実施中

【主体施策：「ベスト運動」⇒持続のための仕組み(受け皿)】

2006(H18)年1月 備後のCO2削減「ベスト運動」

Bingo Environmentally Sustainable Transport

月に1回以上 自由な方法で エコ通勤

<p>①ベスト会員(市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上 エコ通勤 ・ベスト運動への参加状況を報告 ・抽選でプレゼント <p style="text-align: center; background-color: #4f81bd; color: white; padding: 2px;">楽しみながらエコ通勤を継続</p>	<p>②協賛企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会的責任(CSR) ・参加者特典原資となる協賛金出資 ・従業員への運動告知 <p style="text-align: center; background-color: #4f81bd; color: white; padding: 2px;">地域・社会貢献とその広報効果</p>
<p>③委員会(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組みづくりと検証改善 ・会員確保、参加増に向けた広報実施 ・運動全体のマネジメント <p style="text-align: center; background-color: #4f81bd; color: white; padding: 2px;">渋滞緩和と環境改善の達成</p>	<p>④地元FM局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の特典運用システム ・既存FM会員への運動告知 ・地域の活性化に寄与 <p style="text-align: center; background-color: #4f81bd; color: white; padding: 2px;">会員増加 中心市街地再生</p>

※それぞれのメリットを

【意識・行動変化を促すための施策】



▲企業 居住地TFP (2006年度～)



▲イベントの参加(会員募集)

【参加しやすい環境づくりのための施策】



▲中心部レンタサイクル (2006年7月～)



▲中心部ループバス (2008年度予定)